

# 式根島 アイランド ワーケーション コンセプトレポート

一般社団法人式根島エリアマネジメント  
2021～2022





**SHIKINEJIMA**  
Coworking Space

# 目次

はじめに	3
第1章 式根島COWORKATION PROJECTの歩み	4
2019-2020	4
2021	5
第2章 ワケーション地としての式根島	6
GENERAL INFO 式根島について	6
WORKING SPOT 式根島コワーキングスペース	8
WORKING SPOT 宿泊施設のワーキングスペース	10
WORKING SPOT フリーWi-Fi環境	11
ACTIVITY 仕事の疲れを癒す	12
ACTIVITY 大自然を楽しむ	13
ACTIVITY 心と体を整える	14
ACTIVITY 島の暮らしと文化に触れる	15
ACTIVITY 新島1DAYツアー	16
ACCOMMODATION 湯ったり宿ひだぶんGH	17
ACCOMMODATION きろく げんべい	18
わたなべ かねやま	18
FOOD サンバレー 宿の料理 テイクアウト	19
SUPPORTER 島のサポーター	20
第3章 式根島アカデミー2021	21
第1回：式根島の魅力発信	21
第2回：式根島ワーケーションモニターツアー	22
モニターツアー実施調査	24
第3回：振り返り、検証、次年度の商品販売へ	28
式根島アカデミーを終えて	29



## はじめに

深い木々の緑と、鳥のさえずり。やわらかな弧を描く穏やかな入り江と、清らかな空気。「式根松島」と謳われた式根島の絶景と、湯治場として親しまれた癒し効果は、今も昔も変わらず多くの旅行者を惹きつけてやみません。

その一方で、歩いて巡ることができるほどの小さな島の、人口500人ほどの小さなコミュニティにとって、少子高齢化と担い手不足による課題は日々深刻さを増し、島の暮らしに暗い影を落としています。さらに新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、世界はこれまでにない新しい働き方、暮らし方、旅の仕方へと大きくシフトチェンジしようとしています。

島ならではの穏やかな暮らしを維持しながら、変革期に耐えうる新たな島の滞在スタイルを模索したい。式根島では2019年より定期的に住民が集い、島の行く末について幾度となく話し合いが行われてきました。その結果、生まれたのが「式根島アイランドワーケーション」というキーワードです。

オフシーズンならではの静かな環境と、充実したネットワーク環境を活用した「離島滞在型ワークスタイル=式根島アイランドワーケーション」を推奨することで、急速に普及が進むテレワーク需要に対応し、ひいては島の課題を解決してくれる関係人口の創出を目的とする考え方です。

2020年にはワーケーションの拠点となるコワーキングスペースを開業し、2泊3日のモニターツアーを実施。その結果を受けてスタイルを見直し、集大成となる2021年は都内のビジネスパーソンを招待した5泊6日のワーケーションツアーを実施しました。式根島アイランドワーケーションとは何か。そこからどのような成果を獲得できるのか。本書でその詳細をご紹介します。

## 第1章 式根島COWORKATION PROJECTの歩み

式根島の課題を解決するために、自分たちができることは何か。式根島では東京島嶼部の価値を高めるブランディング事業「東京宝島」を通じて参加者を募り、会議や視察を通じて実践可能なスタイルを模索してきました。そこで生まれたのが「COWORKATION PROJECT」です。

# 2019

### コンセプトメイキング

観光に依存せず  
少人数で持続可能な  
新しい滞在スタイルの模索

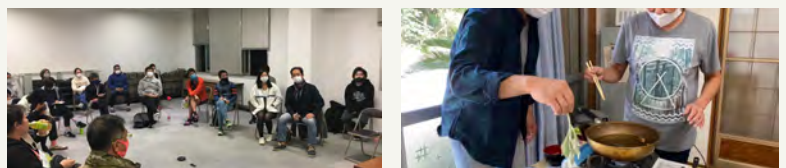


初年度なる2019年は、島内での会議や島外への視察を重ねた結果「COWORKATION PROJECT」のコンセプトにたどり着きました。オフィススペースを共有しながら働く「コワーキング」と、オフィスを離れたリゾート地などで休暇を取りながら働く「ワーケーション」を組み合わせた考え方で、式根島でのワーケーションを通じて中長期的に島と関わる仲間を増やし、島の将来を共に担う人材の輩出をプロジェクトの目標に決めました。

# 2020

### 環境整備

(一社) 式根島エリア  
マネジメント発足  
式根島コワーキング  
スペース開業  
式根島アカデミー開催



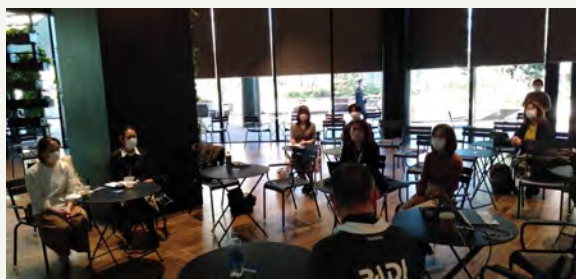
2年目となる2020年はプロジェクトを実行するための環境整備を行うと共に、モニターツアーを通じて実証実験を行いました。2020年3月、ワーケーションを受け入れるための運営組織として、東京宝島参加メンバーが中心となり一般社団法人式根島エリアマネジメントを設立。さらに式根島コワーキングスペースを開業し、メンバー間で運営するスタイルを確立しました。コロナ禍で計画変更を余儀なくされましたが、2泊3日のモニターツアーを含む交流イベント「式根島アカデミー」を開催し、13名のモニターを受け入れ、ワーケーション地としてのポテンシャルを確認しました。



# 2021

## 実証

式根島アイランド  
ワーケーションの確立  
式根島アカデミー開催  
企業モニターツアー実施



2020年のワーケーション拠点の新設とモニターツアーによる実証実験を受け、2021年はCO-WORKATION PROJECTを深化させる1年と位置づけ、コロナ禍が続く中での活動を模索しました。

2020年実施の2泊3日モニターツアーでは滞在時間が限られるため、参加者の多くが「ワーク」より「バケーション」を優先したことが判明。短期滞在は受け入れ側の式根島メンバーにもアテンド等の負担が大きく、継続が困難であることも見えてきました。そこで、島にとっても来島者にとっても負担がなく、島の未来を担ってくれる仲間になるというプロジェクト本来の目的に立ち返り、式根島らしいワーケーションの在り方とは何か？を改めて深掘りしました。

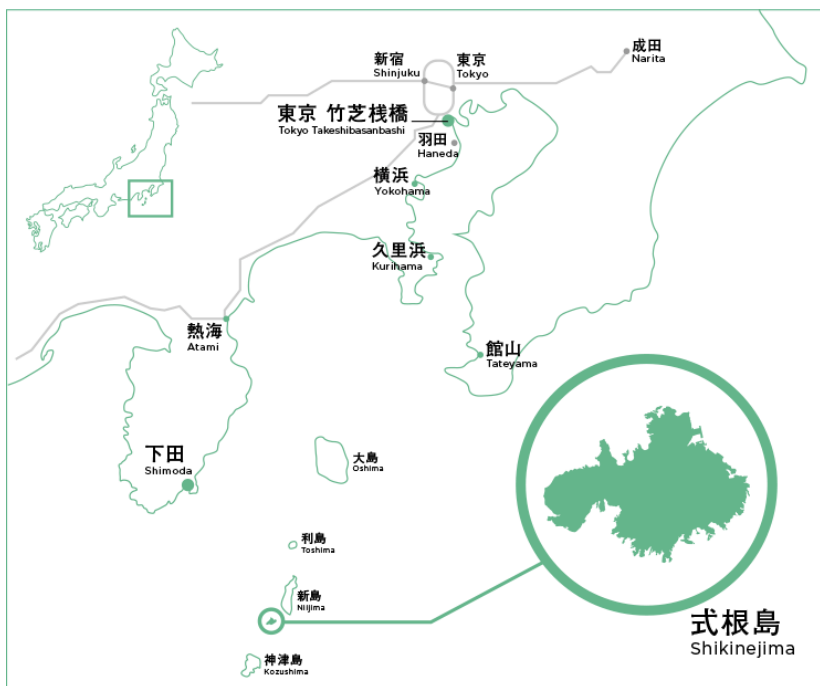
2021年は「式根島アイランドワーケーション」と銘打ち、「閑散期の式根島で3泊4日以上のゆったりした滞在をし、きちんとワークをしながら、島の住民と関係を築けるワーケーション」と想定。アフターコロナを視野に入れた継続的な誘客を目指し、リモートワークを積極的に実施している企業から5名の社員に来島いただき、モニター調査を実施することで、式根島ならではのアイランドワーケーションの形を検証しました。



## 第2章：ワーケーション地としての式根島

### General Information 式根島について

### 東京から週末に行ける 風光明媚な絶景の島



式根島は東京から南へ約160kmの太平洋上に浮かぶ島。伊豆諸島の中央部に位置し、東京からは4番目に近い距離にあります。行政区域は東京都新島村で、隣接する新島（にいじま）と2島1村体制。東京・竹芝から船で行き来でき、週末に行ける離島として絶大な人気を誇っています。

外周は約12kmで、自転車で1～2時間で廻れるコンパクトさ。リアス式海岸が続く複雑な地形は幾つもの入り江と磯場を作り出し、波穏やかな入り江は海水浴場、岩場は多彩な魚介類が集まる釣り場やダイビングスポットとして親しまれています。

古くは縄文時代から存在していたとされていますが、人が住むようになったのは明治時代に入ってから。江戸時代までは波穏やかな海岸を船の風待ち港として活用された他、漁場や製塩所、湯治場として利用されていました。関ヶ原の合戦に敗れ流刑となった宇喜多秀家が八丈島へ流される途中で立ち寄ったという言い伝えもあります。

式根島の美しい眺は多くの文人墨客に愛され、昭和13年には『みだれ髪』で有名な歌人、与謝野晶子が島を訪れ「波かよう門をもちたる 岩ありぬ」と歌を詠んだといわれています。

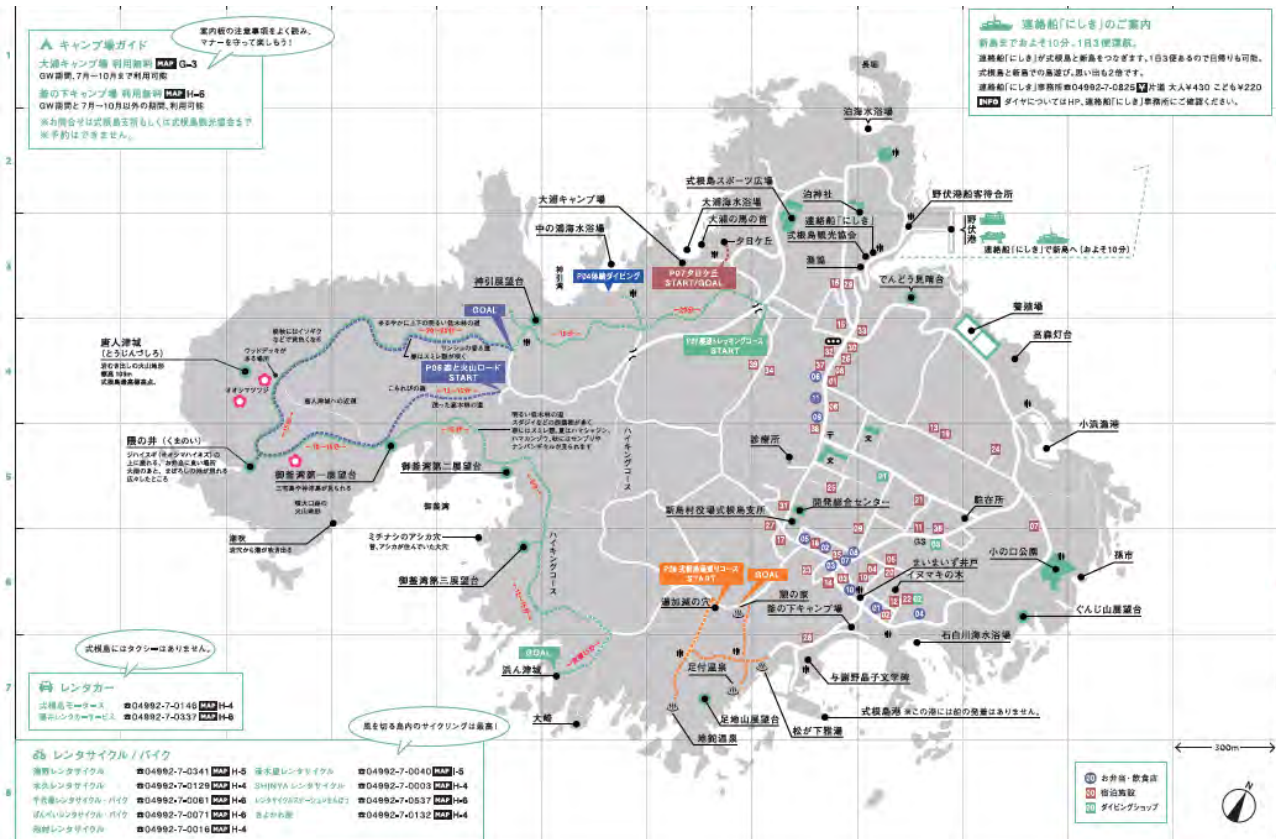
#### \* Data \*

- ・地理：東京から約160km
- ・大きさ：周囲約12km
- ・自治体：東京都新島村
- ・人口：495人（男性241人・女性254人）  
\* 2022年1月1日現在
- ・産業：主に観光産業
- ・自然：リアス式海岸に囲まれた複雑な地形  
湯治場として愛された豊富な温泉  
式根松島と呼ばれた青松白砂の景色  
富士箱根伊豆国立公園の一部
- ・アクセス：東京・竹芝桟橋より大型船と高速船  
隣島の新島から調布行き空路あり





# 職住一体のライフスタイル



## 移動は自転車でもOK

式根島は周囲12kmのコンパクトな島。バスや電車などの公共交通機関はありませんが、海岸や史跡などの観光スポットは自転車でアクセスできます。商店や宿泊施設、飲食店なども徒歩圏内にあり、移動や通勤に伴うストレスはほとんどありません。

## キャッシュレス決済が普及

島内でATMを利用できるのは式根島郵便局1か所のみ。銀行はありません。ただ、島内で営業している全商店をはじめ、宿泊施設や飲食店の多くがキャッシュレス決済を導入しているため、滞在中は現金をほとんど使わずに過ごすことができます。



## 食事時間を制限しない充実のテイクアウトメニュー

式根島にはコンビニやファストフードはありません。また、来島者の8割が夏に集中する式根島では、観光シーズンのみの季節営業が多く、通年営業している飲食店は1店舗のみです(2022年2月現在)。そのぶん商店で製造販売している弁当や総菜、パンなどテイクアウトメニューが非常に充実しており、自分の好きな場所、好きなタイミングで食事をとれる環境になっています。



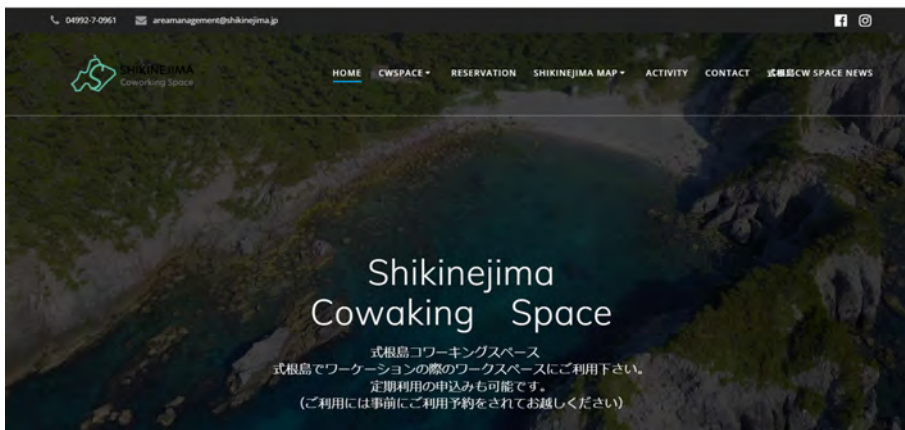
# WORKING SPOT

## 式根島コワーキングスペース



### 高速通信と快適環境を完備した島のテレワーク拠点

2020年11月にオープンした式根島コワーキングスペースは、旅行者で混み合う5月～9月のトップシーズンにはカフェレストラン「島Cafe」として、10月～4月のオフシーズンにはコワーキングスペースとして営業するという、ユニークな二毛作スタイルのスポットです。サクサク作業できる安定の2.4G&5G高速通信と、長時間作業しても疲れないうデスク&チェアが用意され、快適に仕事することができる環境です。



#### \* Data \*

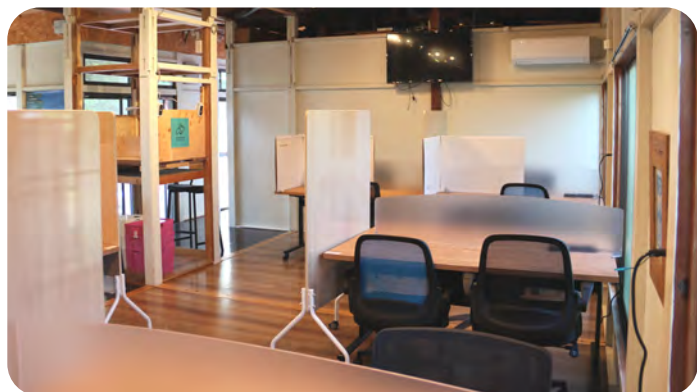
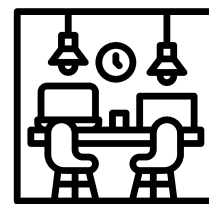
座席：共有スペース13席、個室1室（4席）  
 料金：1時間500円  
 2週間以上滞在の方には割安の半月プラン、1ヶ月プランあり  
 予約：ウェブサイトにてオンライン予約のみ  
<https://shikinejima.jp/cwspace/>



SHIKINEJIMA  
Coworking Space

## レイアウト





### 安定の高速通信&テレワーク用チェア

館内は2.4Gと5GのWi-Fi環境を完備。上下200Mbpsの高速光通信で、ストレスフリーな快適環境で作業することができます。長時間座っていても疲れにくいテレワークに適したチェアと、作業しやすい大きめのデスクが用意されているので、1日作業しても快適です。

### プライバシーに配慮。セキュリティも万全

座席は1人席、2人席があり、スタンディングで作業もできるハイテーブル席もありますので、思い通りのスタイルで作業が可能です。座席ごとにIDとパスワードを発行しているため、通信速度を維持しながらセキュリティ面を強化。隣の席から画面が見えないよう、プライバシーと感染予防に配慮したレイアウトになっています。



### オンライン会議ができる個室も

共有スペースの他に、モニターを完備した個室も完備。テレワークに欠かせないテレビ会議や、大画面モニターに接続しての作業なども可能です。

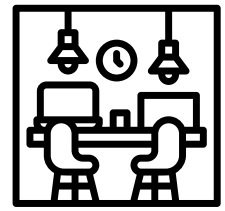
### 商店や海、温泉へのアクセス良好

コワーキングスペースのすぐ横に池村商店があるほか、各商店や宿も徒歩圏内ですので、食事や飲み物、日用品などの買い物に困りません。仕事の合間に海で休憩したり、温泉でリフレッシュすることもできます。





## WORKING SPOT 宿泊施設のコワーキングスペース



### 通勤0分のワークスペース 在宅勤務の感覚で

式根島の宿泊施設の多くは光回線を利用したWi-Fi環境を整えています。その中には館内にコワーキングスペースを完備しているところや、個室を完備して客室内に仕事ができるデスク&チェアを用意しているところもあります。セキュリティ上、公共スペースでの作業が困難な時や重要な会議の時に、宿泊施設での作業が最適です。移動時間がないぶん作業効率を高めることができ、周囲の環境を気にすることなく集中して作業したい時に利用できます。

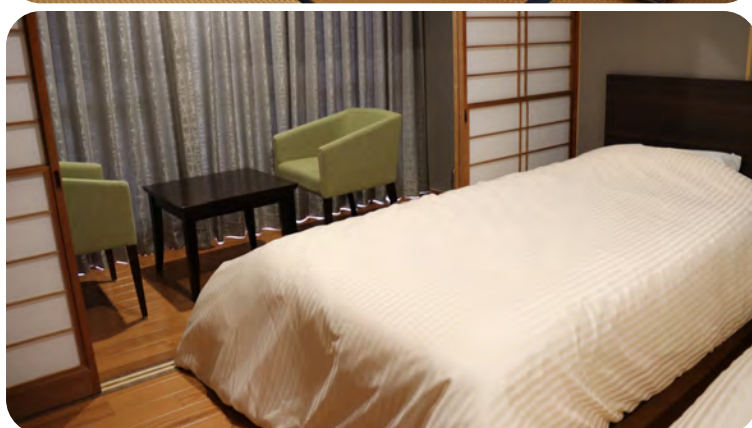
宿のコワーキングスペースは宿泊者にはもちろん、宿泊者以外にも有料で開放している施設もあります。



### 集中して作業したい時や 会議は部屋でゆっくりと

式根島の宿泊施設は昔ながらの民宿スタイルが多数を占めていますが、近年の個人旅行者の増加や感染拡大防止の観点から、個室タイプや、バストイレ付きのホテルタイプの客室を用意する宿が増えていきます。ドミトリーから完全個室まで多彩なタイプが揃っているのも、予算とニーズに合わせて滞在スタイルを選択でき、宿の長期滞在プランを利用してリモートワークを行うビジネスパーソンも増えていきます。

Wi-Fi完備の宿なら、作業に集中したい時やオンライン会議に参加する時は、客室にこもって周囲を気にせず作業するのがよさそうです。



# WORKING SPOT FREE WI-FI環境



## 島内10カ所にスポット 海を見ながら仕事できる

式根島では集落の中心部や海水浴場、温泉など、島内10カ所に新島村運営のFree Wi-fiのアクセスポイントが設置されています。1ポイントにつき半径25mをカバーし、最大50人まで接続可能。メールアドレスを登録すると、1時間無料でネット回線を利用できます。利用者が少ないオフシーズンは回線が混み合うことも少ないので、安定した回線速度でインターネットに接続することができます。

例えば海を見ながら、足湯につかりながら、メールを書いたりパソコンで作業をしたりする、ということも可能です。いつもと違う景色を眺めているうちに、気分が一新されて作業が進むかもしれませんし、雄大な自然にインスピレーションを感じて、思わぬアイデアが湧いてくるかもしれません。



### \*式根島Free-Wifiスポット

- 8 新島村役場式根島支所
- 9 式根島開発総合センター
- 17 式根島温泉憩いの家
- 19 松が下温泉 雅湯
- 20 式根島診療所
- 21 泊海水浴場
- 22 大浦キャンプ場
- 23 中の浦海水浴場
- 24 石白川海水浴場
- 26 ファミリーストアみやとら



## ACTIVITY～アクティビティ

## 仕事の疲れを癒す



「式根といえば温泉」と言われるほど、古くから湯治場として知られた式根島。島内には野趣あふれる3つの露天風呂があるので、仕事の合間や1日の終わりに入れば、頭スッキリ、疲れを明日に残しません。

じなた おんせん

## 地鉦温泉



世界最大手旅行ガイド・ロンリープラネットで「日本の温泉ベスト10」に選ばれた絶景温泉。地面を鉦で割ったようなV字の谷を降り、ごつごつした岩場に湧き出る高温の湯を海水と混ぜながら入浴するという、一生モノの秘湯体験ができます。茶褐色の硫化鉄泉で、神経痛や胃腸病に効くといわれ、「内科の湯」と呼ばれています。水着着用で24時間無料。

あしつき おんせん

## 足付温泉

地鉦温泉と同様、岩場に湧く温泉を海水などでぬるめて入るワイルドな野天風呂です。傷ついたアシカが入ったことから由来するといわれる足付温泉は、無色透明の炭酸泉。切り傷やアトピーなどに効く「外科の湯」と呼ばれています。水着着用で24時間無料。



まつ した みやび ゆ

## 松が下 雅湯



潮の満ち引きで湯加減が左右される上の2温泉と違い、いつでも適温で気軽に入れるのが魅力の雅湯。足湯も併設されているので、仕事の合間のリフレッシュにも利用できます。泉質は地鉦と同じ硫化鉄泉です。湯船は水着着用、24時間無料。

いこい いえ

## 憩の家

式根島で唯一水着なしで入浴できる屋内の共同浴場です。泉質は地鉦温泉と同じ硫化鉄泉で、大きな湯舟でゆったりと温泉を楽しめます。地元住民が多く利用しているので、ローカルとの交流も楽しめそう。利用料200円。





## ACTIVITY～レジャー



## 式根島の大自然を楽しむ

「式根松島」と呼ばれ、風光明媚な島として知られる式根島では、美しい自然がすぐそばに広がっています。ダイビングスポットも多く、アクティブに過ごしたい方に多彩なプランが用意されています。

## SCUBA DIVING

ウミガメに出会えるスポット多数  
世界的に珍しい海中温泉も

式根島のアクティビティで人気ののが、ダイビング。複雑なリアス式海岸で風の影響を受けづらく、周囲を黒潮が流れる式根島周辺では多彩な魚や動物に出会えるスポットが点在しています。初心者の体験ダイビングからレベルに合わせてベテランスタッフがコースを案内してくれます。

また御釜湾には「海中温泉」と呼ばれる、海底から温泉がブクブクと湧き出るスポットがあり、温泉の温かさを求めてウミガメが集まる姿を見ることができます。ダイビングでしか入れない温泉だけに、知る人ぞ知る秘湯といえます。



## ISLAND CRUISE



海が穏やかな日には、複雑なリアス式海岸に囲まれた式根島の景色を船でめぐる「式根島1周クルーズ」が運航されています。式根松島と呼ばれた、松が生い茂る絶景はもちろん、時にはクジラやイルカに遭遇するチャンスも！？

## FISHING



冬でも温暖な気候の式根島は、釣りスポットとしても人気。堤防からの釣りでも釣果が高く、初心者でも気軽に楽しむことができます。磯釣りはもちろん、釣り船を利用した沖釣りも可能です。



## ACTIVITY～アクティビティ



## 心とカラダを整える

朝日を浴びながらの海ラン、仕事終わりのウォーキング、夜空を眺めながらのチルタイム。コンパクトな式根島は自分のタイミングで気軽にリフレッシュできるのが魅力です。

## RUN &amp; WALK

仕事の前に、1日の終わりに  
自分のタイミングで

島内には海沿いに続く歩道や、ちょっとしたハイキング気分を味わえる遊歩道があり、徒歩や自転車で気軽にアクセスできるのが式根島のいいところ。朝、食事の前に。夕方、仕事の後に。朝日や夕陽を浴びながらラン&ウォーキングすれば、心と体がリフレッシュできそう。人の少ないオフシーズンなら、人目を気にせず自分のペースで体を動かせます。

## MASSAGE



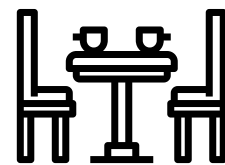
デスクワークで凝り固まった体を式根島でほぐして帰る、というのはいかがでしょう。ベテラン整体師が、宿の部屋まで出張してくれるので、外出することなく体をゆるめることができます。

## STAR WATCHING



街灯が少ない式根島には、宿を1歩出ただけで満天の星空が見渡せる、というほど星がきれいに見えます。神引展望台や、泊海水浴場、小の口公園など、島内の星空観察スポットで宇宙に思いをはせれば、思わぬアイデアも湧いてきそう。温泉に浸かりながら星を眺めるのも、式根の夜のお楽しみ。

## ACTIVITY～アクティビティ



## 島の暮らしと文化に触れる

アクティブに遊ぶだけでなく、心と体をほぐしてリフレッシュできるのもワーケーションの醍醐味。湯治場として栄えた歴史を持つ式根島で、疲れを癒し、パワーチャージしていきませんか？

## 東要寺・サーファー和尚の説法

名物和尚と語らい  
自分の心と向き合う

最近はお寺で写経や写仏をして心を安らげる人が増えていますが、式根島唯一のお寺、日蓮宗東要寺も仕事の合間に訪れておきたいスポット。サーフィンを楽しむ、地元では「サーファー和尚」の名で親しまれる横山住職の説法を聞いて、心を静かに整えましょう。お参りの帰りには、住職手作りのおみくじを引くのを忘れなく。

## 住民とのお茶会

島の人々とじっくり話せるのは  
オフシーズンならではの

都会とは全く異なる、島の文化やライフスタイル。500人弱の住民が暮らす式根島の日々には、厳しい自然を生き抜くための知恵と工夫が詰まっています。夏の観光シーズンには多忙すぎて会話ができない島の人々も、オフシーズンならではの語らいを楽しめます。普段は接点のない島の人々と話すことで、今までになかった新しい視点やアイデアを得ることができるかもしれません。

## 女将と入る夜の地鉈温泉

暗闇の温泉を女将が案内する  
式根島ディープ体験

日本有数の秘湯として知られる地鉈温泉は、真っ暗な夜に入ると格別な絶景が楽しめます。それだけでなく湯加減の見極めが難しい地鉈温泉、ましてや夜となれば旅行者には難易度高め。そこで湯ったり宿ひだぶんの女将が、夜の温泉まで案内してくれます。ツアーは天気の良い日に突然催行されるので、ハプニング的な楽しさも味わえそうです。



## ACTIVITY～アクティビティ

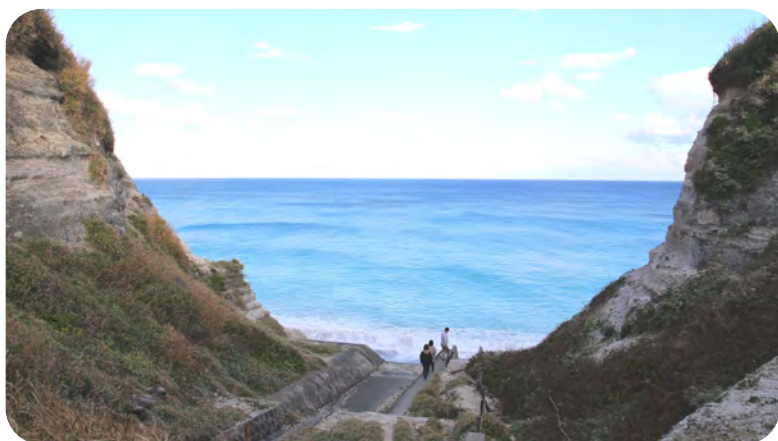


## 新島1DAYツアー

式根島から約8kmの距離にある新島へは連絡船で約15分で行き来でき、景色の異なる2島を日帰りで楽しむことができます。新島にもコワーキングスペースがあるので、移動して仕事や会議も可能です。



式根島と新島を結ぶ村営連絡船にしきは約15分で、1日3往復運航。沖から島の景色を眺めたり、時にはイルカが泳ぐ姿に遭遇することも。



新島の西海岸には白砂のビーチが約7kmに渡って続く羽伏浦海岸が広がっています。その南側にある真っ白な崖、白ママ断崖へは階段で。地元ではサーフスポットとしても知られています。

新島にも無料で入れる温泉、湯の浜露天温泉があります。ギリシャ神殿を思わせる石造りの湯舟は、水着着用で。隣に足湯もあるので、さっと浸かりたいという人にはおすすめです。

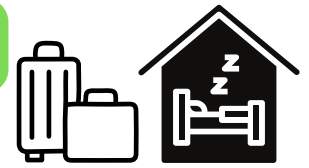


新島内にはコワーキングスペースや、Free Wi-fiが利用できるスポットが点在しています。またコワーキングスペースや会議用ブースを備えた宿もあり、新島で仕事をすることもできます。



## ACCOMMODATION～宿泊施設

## 湯ったり宿ひだぶんGH

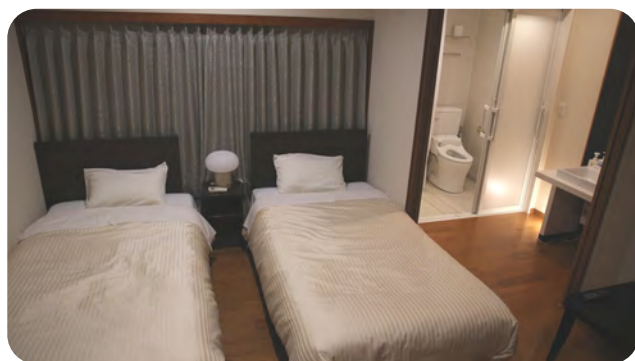


館内の1階と2階にコワーキングスペースを完備し、式根島のワーケーション拠点として人気の宿・ひだぶん。バストイレ付きの個室から、和室、洋室、2段ベッドのドミトリーまで、バリエーション豊富な客室から予算や好みに合わせてチョイス可能。食事の時間を気にせず仕事をしたいという方は、共同キッチンで調理も可能。食べ応えのある宿の料理で体調を整えるもよし、自炊をしながらマイペースで過ごすのもよし。自由度の高い旅が楽しめるのが魅力です。



アクセスポイントを設置している館内では高速インターネット環境が整備されているので、共有スペースはもちろん、客室でも快適にテレワークが可能です。ワーケーションで滞在される人のために、2週間と1か月の長期プランも用意されています（オフシーズンのみ）。

気さくな女将さんに惹かれて通ってくる人も多く、地元住民とのふれあいも楽しめる宿です。



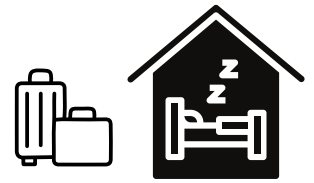


## ACCOMMODATION～宿泊施設

## きろく



海沿いの静かな環境が魅力の民宿きろくは、新鮮な魚料理が楽しめる漁師宿。全客室でWi-Fiが利用できるので、部屋でテレワークやテレビ会議をする人が多い宿です。式根島一周クルーズを主催しているので、アクティビティを楽しみたい人にも便利です。



## げんべい



島の中心や海岸へアクセス便利なげんべいは、和室のほかにツインベッドの和洋室も新設。館内はWi-Fiが整備され、落ち着いて仕事をしたい人に最適です。ボリューム満点の料理も人気の秘密。レンタサイクル&バイクも利用できます。



## わたなべ



海まですぐの和室、洋室を備えた島宿。アクセスポイントが整備されネット環境も快適です。

## かねやま



新鮮な魚料理が自慢の漁師宿。アクセスポイント完備でテレワークやテレビ会議に最適です。



## FOOD～食事



### サンバレー



式根島で外食するなら、石白川海岸からすぐの立地にあるサンバレー。オフシーズンに営業している唯一の飲食店（2022年2月現在）として地元で愛されるお店です。鶏肉とネギがたっぷり入った名物「ねぎとりラーメン」は、自家製の粗びき島唐辛子をかけて、さわやかな辛みと風味をプラスするのが式根流です。

### 宿の料理



飲食店が少ない式根島で、グルメの基本は宿の料理。近海で獲れた新鮮な魚介類や、サクサクおいしい明日葉の天ぷら、揚げたてふわふわのたたき揚げ（魚すり身の天ぷら）などの郷土料理を味わえます。ワーケーションで毎日同じ時間に栄養たっぷりの食事を食べていると、体調がよくなるという声も。

### 充実のテイクアウト



式根島に来たなら食べておきたいのが、ごはんと具材を郷土料理のたたき揚げで包み込んだ「たたき丸」（みやとら）や、素朴なおいしさにほっこりする揚げパン（池村商店）。他にもお弁当やお惣菜などテイクアウトメニューも豊富です。



## SUPPORTER～島のサポーター



式根島でのワーケーションをより快適にするために、式根島エリアマネジメントのメンバーが各所でサポート。観光、グルメ、島のくらしなど、島をより深く知ってもらうための案内人として活動しています。



## 下井 勝博

新島村商工会職員。ダイビングインストラクター。ダイビングを機に式根島へ移住。島のあらゆる事務をこなす、頼れる島の世話役。



お兄ちゃん

## 宮川 央行

ファミリーストアみやとら店主。式根島エリマネ代表。生まれも育ちも式根島。穏やかな笑顔がトレードマークで、おじいちゃんおばあちゃんに絶大な人気。



みっちゃん

## 肥田 光代

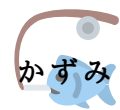
湯ったり宿ひだぶんGH女将。長年家族で島で漁、ダイビングショップ、民宿を営む肥田一家の中心的存在。おっとりした雰囲気癒されるファン多数。



りえ

## 池村 理恵

池村商店女将。学生時代にダイビングで島を訪れ、式根島で結婚。5人の子育てをしながら店を切り盛りする、キュートでパワフルな島ママ。



かずみ

## 青沼 和美

民宿きろく女将。ご主人と息子が漁師というフィッシャーマン一家。おしゃべり好きで明るい人柄から、彼女会いたさに通ってくる人も多い人気者。



はやた

## 百井 隼太

百井整体院オーナー。式根生まれの式根育ち。整体師として疲れた心とカラダをほぐしてくれる、島の若きホープ。

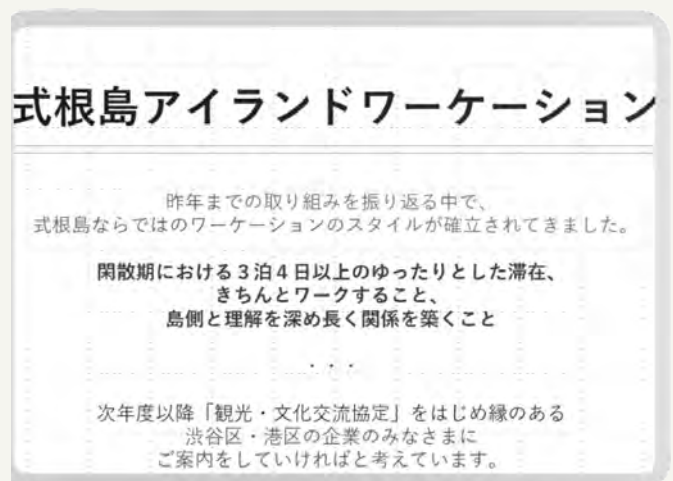
## 第3章：式根島アカデミー-2021

### 第1回：式根島の魅力発信

2021年10月15日 14:00～15:30  
オンライン

式根島COWORKATION PROJECTでは、ワーケーション地としての島の魅力を発信することで、従来の観光とは異なる中・長期滞在者を開拓することはもちろん、ワーケーションを通じて島を訪れる人に島の将来を担う仲間になってもらいたいという狙いがあります。

そこで、プロジェクトでは来島者と住民が親睦を深め、式根島についてより深く知ってもらうためのプログラム「式根島アカデミー」を企画し、東京諸島と東京を結ぶ玄関口である竹芝エリアのまちづくりを行う（一社）竹芝エリアマネジメントを通じて参加者を募集。東京と式根島で3回にわたって実施しました。



第1回は、ZOOMを利用したオンライン会議形式で、参加者3名と式根島メンバーで初顔合わせを行いました。まずは自己紹介タイムを設け、プロフィールや仕事内容、参加の理由などについて発表。続いて式根島COWORKATION PROJECTの目的と経緯、式根島の仕事、生活、観光に関する情報を紹介しました。

式根島アカデミーは前年の2020年に初めて実施され、主にメディア関係者が2泊3日のモニターツアーに参加。現地で実際にワーケーションを行う実証実験を実施しました。参加者からの反応は好評で、手応えは十分にあったものの、2泊3日という短期間ではワークよりバケーションに偏向する傾向が見られ「通常業務が可能かどうか」という点に課題が残りました。

そこで、2年目となる今回は、ワークの部分に焦点を当てたツアーを企画。新島村と連携事業が多い港区・渋谷区の企業から参加者を募り、出張として企業から派遣された5名に式根島でテレワークをしていただく5泊6日のモニターツアーを企画しました。島で仕事の成果をあげながら、島の魅力を味わい住民と交流するには最低3泊以上の滞在が必要とする「式根島アイランドワーケーション」のテーマを参加者に紹介。それを受けて参加者からは仕事環境やATM等の生活情報、「ダイビングは可能か」といったアクティビティ情報といった質疑応答が行われました。



## 第2回：式根島ワーケーションモニターツアー 2021年11月7日(日)～13日(土) 式根島



式根島アカデミーは参加者5名が式根島に来島し、実際にワーケーションを行ってもらうモニターツアーです。参加者は運営スタッフ、カメラマンと共に、22時出発の大型船さるびあ丸に乗船。翌朝に式根島へ到着するスケジュールです。

港区、渋谷区の企業4社からの参加した参加者が全員集まるのは、この日が初めて。ですが東京湾の夜景を間近に眺め、レインボーブリッジの真下を通過する船旅の始まりに、参加者は大興奮。出航した途端に始まる非日常は、船旅ならではの醍醐味だけに、モニターツアーではあえて夜の船をプログラムに組み込んでいました。

船内では自由行動でしたが、参加者全員が集まり、お酒を交えながら親睦を深めました。

翌朝9時頃、一同は式根島に到着。「夜、東京を出て、朝目が覚めたら島」というダイナミックな変化に、参加者は一気に旅行気分が高まったようです。到着後は、滞在先の「ひだぶんGH」へチェックイン。ひだぶんではコワーキングスペースで仕事ができるほか、滞在の前半と後半で和室と洋室の部屋をチェンジすることで、タイプの異なる客室でのテレワークを実証してもらいます。



午前中は、ワーケーションの拠点となる式根島コワーキングスペースに式根島メンバーも集まり、全員でブリーフィングを行いました。簡単な自己紹介をした後、ツアーの全体スケジュール、コワーキングスペースの紹介、アクティビティの予約方法、島での過ごし方などを説明しました。

## モニターツアー

式根島滞在中は、初日のブリーフィングと終盤の意見交換会を除けば、基本的に各自の自由裁量で行っていただきました。それぞれの業務に合わせて、コワーキングスペースや宿泊施設で作業を行いつつ、希望に応じてアクティビティを組みこんでもらう、実践的なワーケーションの検証です。

参加者は、日中をコワーキングスペースで作業して、リフレッシュに温泉を利用する人や、会議が多く集中したい時に宿の部屋にこもる人、ツアーの前半にワーク、後半はバケーションとメリハリをつける人など、過ごし方がさまざま。全員が集まる夕食の時間には、お酒を交わしながらその日の過ごし方を話したり、島の住民と語らう機会も多くありました。



ツアー最終日は、式根島クルーズなどのアクティビティを計画する人が多くいましたが、あいにくの悪天候でクルーズは中止。天候に左右されてしまうのが離島の難しいところではありますが、参加者も慣れたもので、すぐに仕事に切り替えるなどしていました。夜はみんなでバーベキューを楽しみ、翌日午前中の大型船で一路、東京へ。島の人々に見送られ、5泊6日のモニターツアーは終了となりました。

滞在4日の夜には、式根島開発総合センターにてモニター参加者、式根島メンバーをはじめ、新島村職員、東京都職員、取材メディアなども同席して意見交換会が開かれました。参加者の感想をヒアリングした上で、ワーケーションという観点から式根島にどのような強みがあるか、今後どのようなアピールをすればよいかについて、参加者からは多くの意見や提案が出されました。

その中で「ターゲットは企業なのか個人なのか、絞り込んでいく必要がある」といった意見や、「ワーケーションというと遊びに行くイメージが強く、オフサイトのほうが合うのでは」というキーワードが挙がりました。オフサイトは組織のチーム作りや長時間の会議のために、オフィスを離れた場所で行う合宿のこと。テレワークの定着で一度も会わずに仕事をする機会が多い昨今、導入しているIT系企業が増えているようで、宿を貸し切ったオフサイトをIT企業が多い港区・渋谷区の企業にアピールするのはどうか、といった具体的な提案も出てきました。





## モニターツアー-実施調査

5泊6日の式根島モニターツアーに参加し、実際に式根島でワーケーション体験してもらった参加者5名に、意見交換会や実施後のアンケート調査を通じてヒアリングを行い、島での過ごし方や体験してみた感想などを語っていただきました。

### 1. 式根島でどのように過ごしたか？

・朝6時半ぐらいに起きて、海沿いを軽くランニングをして、雅湯に行って帰ってきて、7時半～8時ぐらいに朝食をいただいて、その後9時ぐらいまでにコワーキングスペースに移動。そのまま夕方17時ぐらいまで仕事をして、帰りに憩いの家に寄って温泉に入り、食事をいただく…というスケジュールで活動した。

・一人で集中してやらなければいけない作業が多いので、コワーキングスペースに行くというより、みなさんが行ってしまった後に宿で一人でやっているという感じで、あまり人がいないのでむちゃくちゃ集中できた。

・朝7時ぐらいに起きて、8時ぐらいから食事をいただいて、9時頃から仕事を始めて、15時ぐらいにいったん休憩して温泉に行ったりして、夜ごはんをいただいて…という感じだった。コワーキングスペースに行ったのは初日だけで、あとはずっと宿で仕事をしていた。

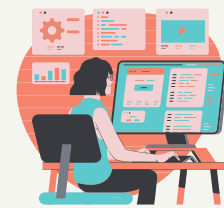
・今回はワーケーションということで、月曜火曜はずっと働いて、式根島自体もあまり見ずにいたが、水曜、木曜、金曜の午前中まではバケーションのほうに振り切ってという感じでメリハリをつけた。

・ワークとバケーションと半々ぐらいの気持ちで来たが、細かい業務が多いので午前中は仕事して、午後はアクティビティを楽しんで最後の1時間だけ仕事できるように調整した。



# モニターツアー-実施調査

## 2. 働く場所としての式根島はどうだったか？



### ○良かった点

- ・食事の時間が定められているので、結構スケジュールリングしやすいと感じた。
- ・非常に集中できるなど思った。コワーキングスペースで集中して仕事をして、仕事の合間にまわりを歩いたり、帰り道に温泉に入ったり、気分転換できるいい環境だなと思う。
- ・やれることに制限があるというか、誘惑がないところ。一人になりたいというのが僕にはあるのかなと今回わかり、みんなでコワーキングスペースでというのはあまり向いてないなど思った。
- ・やはりコワーキングスペースがあるということで、快適なWi-Fiとイスが提供されているっていうのはすごくいいのかなと思う。
- ・誘惑が少ないので、仕事に集中しやすい。あと普段あまり規則正しい生活をしていなくて、起きる時間もまちまちだったり、夜12時まで仕事したりという感じだが、島に来て朝ごはん・夜ごはんの時間が決まっていて、仕事も5時くらいまでに片付けると決めていたので、規則正しい生活になってすごくよかった。
- ・島自体はコンパクトなので、休憩時間にどこか行きたいとなった時に自転車ですぐ行ってこれるというのは、気晴らしがしやすい。
- ・Wi-Fi環境がしっかり整っていて、通信という意味では不自由なく過ごさせていた。もともと家で座イスで作業しているので、それに比べたら快適に過ごせた。
- ・ネット環境がとてもよかったので、まったく滞りなく業務ができた。

### ●気になる点、改善点

- ・天候が変わりやすい点。たまにコワーキングスペースから宿までの移動が難しいことがあったので、そういった場合に宿にも仕事しやすい場所があるといい。
- ・生活する上で、例えば洗濯するために小銭を崩しにいけないとか、そういうのはいたしかたないところもあるが、そのためだけに外に行かないといけない。
- ・コワーキングスペースに行かなかったのは、会議室が1つしかないのが理由。1日に会議が3、4個、日によってはもっとあるので、その時に誰かとバッティングした時にどうしようというところがあった。その点、宿なら自分の部屋に入ってしまうえばミーティングできるので、その利便性あって宿で仕事した。もう少し個人スペースとか、会議スペースがあればもう少しコワーキングスペースに行ったかなと思う。
- ・コワーキングでも宿でもそうだが、できればディスプレイが2画面欲しい。
- ・コワーキングの会議室はどういう利用想定なのかなという疑問があった。今回たまたま竹芝エリアマネジメントが2人いたので、会議室を使って声をオープンにして、ということができたが、もし1人でワーケーションした時には、大きな会議室よりは個別のブースがあったほうがいいかなとは思った。
- ・ランチする場所が1か所しかないのは結構きつと感じた。
- ・コワーキングスペース自体はすごく快適だが、もう少しモニターがあったらいいなど思う。新島へ視察に行った時に見たが、ゲストハウスに電話ボックスぐらいの一人用ブースがあって、そういうのがもっとあってもいいのかなと思ったので、どういう風に会議室を使うかというのはもう少し目的を明確にすればより快適になると思った。
- ・歩いても自転車でも行けるが、2日目に大雨が降った時に気持ち的にも物理的にも宿から出るのが困難だったので、コワーキングスペースがもう少し近かったらスムーズに行けたかなと思った。
- ・会社にいるといつも同じ景色で息が詰まるので、景色が開けた場所に個人スペースがあればいいなど思った。宿からコワーキングスペースまでの移動時間があるので、できれば宿に会議スペースが欲しい。

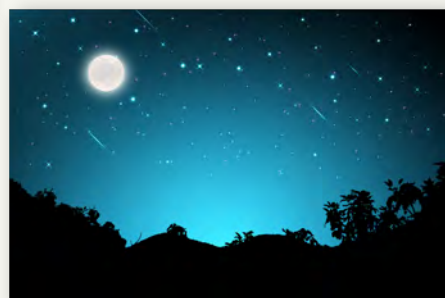
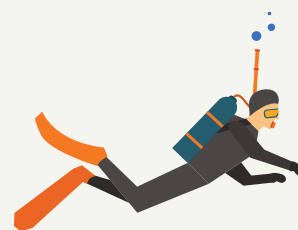
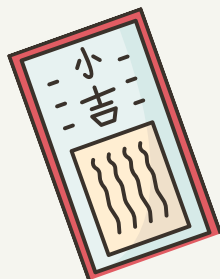


## モニターツアー-実施調査



### 3. 閑散期のアクティビティはどうだったか？

- ・温泉が点在していて、24時間入れるので、すごく楽しめた。
- ・アクティビティはあまりやってない。今回むちゃくちゃ仕事を詰め込んでしまったので、それは間違いだったなど。バケーションできるように、もう少し余裕を持った状態で来るべきだったと後悔している。
- ・温泉に毎日行った。地鉦温泉に行ったり、結構温泉を楽しませていただいたんですけど、どこに行っても人があふれかえっていることがなく、落ち着いて楽しめた。
- ・新島視察をしたことと、温泉とダイビングをさせていただいた。11月でギリギリダイビングできたが、それでも寒かったなど思ったので、12月1月2月に何をするのかなどと思ったら温泉になるのかなと思った。新島視察は丸1日かかることを考えると、1週間で来るというよりは、土日をしっかりはさんで来るほうがいいのかなど思った。会社の制度としては8:30~17:30定時でやっているのだから、そこから外れたアクティビティをやると思うと夕暮れになってしまう。土日ははさまないと厳しいのかなと感じた。アクティビティ自体は満喫できた。
- ・ダイビングと新島視察に行ったが、ダイビングは人数が少ないこともあって、初めてでもつきっきりで見させていただいて、楽しくできた。珍しい魚やカメもいて、沖縄などの離島へ行くとウミガメでもっと奥の方まで行かないと見れないので、沖縄とは違った海の楽しみ方ができたかなと思う。新島については島の方に付き添っていただいたのでいろいろ回れたが、一人で行った場合はどうやって組み立てるのか、どこが見どころなのか、開いているごはんやさんを見つけるのが難しかったのかなと思う。
- ・海沿いはアップダウンが多少あるものの、ランできてとてもいい。宿からのランコースなどを提案してもらえるといいと思う。ランステーションのように温泉に着替え置き場があると理想的。



## モニターツアー-実施調査



### 4. 感想

- ・冬の閑散期ということで、あまり観光客の方もいらっしゃらないので、とてもゆったり過ごすことができた。
- ・布団が硬くて背中が痛かった(笑)。それぐらいで、あとは快適だった。宿のごはんもおいしかった。
- ・新島には興味があったが、行って帰ってというのに時間がかかってしまうなと思って、仕事との兼ね合いもあって行けなかった。もうちょっと仕事を調整して来れば、もう少し楽しめたかなと思う。今回のツアーに参加するまで式根島のことは全然知らなかったなので、正直どういう風に働けるのか不安があったが、思っていた以上に快適に仕事できた、ワーケーションできてありがたかった。温泉もよかったし、朝夕のごはんがすごくおいしくて、帰ったら太っていきそうだなとは思いましたが、全体的にすごく楽しませてもらった。
- ・虫が多くて精神的にやられた(笑)。あと都心と一番違うのは、人込みがなく通勤が快適というところ。そのストレスがないというのが一番大きいなと感じる。空気もおいしいし。都会の喧騒から離れられるというのがよかった点。
- ・高いビルがないことが自分にとってはすごくよかった。普段は渋谷区と港区を行き来しているが、やっぱり高層ビルしかないですし、ビル風がすごいので、島で自然の風を受けることができてよかった。空がきれいとか、日常の行き帰りだけでも自然を感じることは自分にとってすごくリフレッシュになったと思う。
- ・初めてのワーケーションかつ初めての島生活で、滞在前は不安に思っていた部分もあったが、島の皆さんのお人柄やおもてなしのおかげで楽しく快適に過ごせた。
- ・予想以上に何もやることがなかった。風が強く、屋外空間がそんなに心地よく無かったため、リゾート地として期待してたことに対しては物足りなかった。一方で食事は予想以上に充実していたし、日常生活の利便性も良かった。





## 第3回：振り返り、検証、次年度の商品販売へ

2021年12月13日14:00～15:00

東京ポートシティ竹芝まちづくりプラザ( CITY PLAZA )およびオンライン

式根島アカデミー最後の開催は、式根島への出発点となる竹芝と、オンラインで各地を結んで参加者と式根島メンバーが集まり実施されました。11月に実施されたモニターツアーを振り返りながら、意見交換会で出された意見を抽出し、今後どのような形で訴求していくのがいいのか、出席者からさまざまな意見が出されました。

具体的なターゲットとしては「企業で福利厚生に予算を持っている部署」「個人事業主や小規模事業者で集中して制作したい人」がよいのではないか、また「ワーケーション」という言葉はバケーションのイメージが強く、式根島で実施するなら合宿型の「オフサイト」がじっくりくるのではないかという意見が紹介されました。



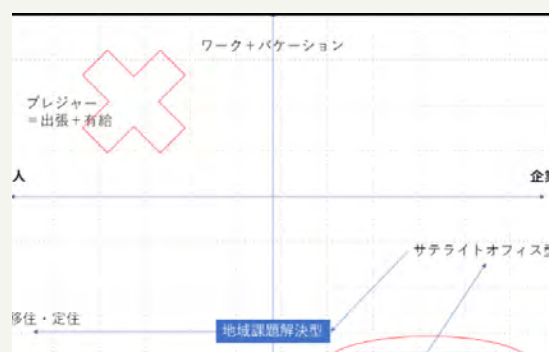
後半では一般社団法人ワーケーション協会顧問の天野宏氏がゲストとして出席し、式根島ワーケーションについて言及。「ワーケーション界隈の人は、地域の人とどう関われるのか興味がある人が多い。一緒にサーフィンをやったり事業をやるといった、一歩踏み込んだつながりができるとリピーティングしやすい。ターゲットを企業とするなら、企業が人を出しやすい切り口があるといいのでは。持っている資源を活かして、腹をくくってやるのが重要で、事例を積み重ねてそれを見える化し、資料にまとめて見せていくのがよいと思う」と語りました。

今後は、島内向けの新聞を発行したり、天野氏の講演会を開催することで、式根島内のワーケーションに対する理解度を高めるよう活動する一方で、企業向けのパンフレットを制作し、企業やイベント時に配布することになりました。



モニターツアーの中では「コーヒーがいつでも飲める環境は重要」「雨天時の移動が難しい」「食事のバリエーションがあったほうがいいのでは」などの意見も挙げられましたが、中でも参加者から「体にいい食事を毎日出してもらえるので助かる」「体調が整った」という意見が多く挙がり、式根島チームとして「健康的、定期的に生活できるメリットや、湯治場としての力、不便さを上回る魅力を強く打ち出していく」という方向性が見えてきました。

オフィスワークの延長として島に来るというより、合宿型滞在のオフサイトで企業ごと、部署ごとに来島し、チームビルディングなどに活用してもらう形を主眼に置きながら、個人のテレワーク需要も掘り取りつつ、ワーケーション&オフサイトの両面でアピールしていくことで意見がまとまりました。



## 式根島アカデミーを終えて

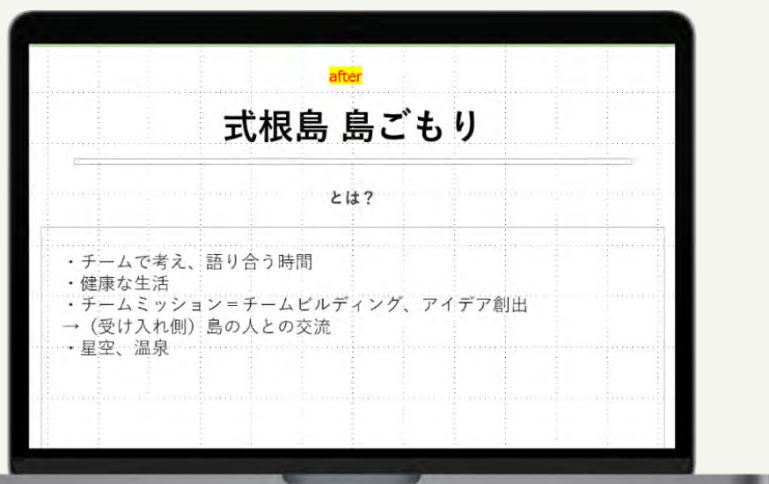
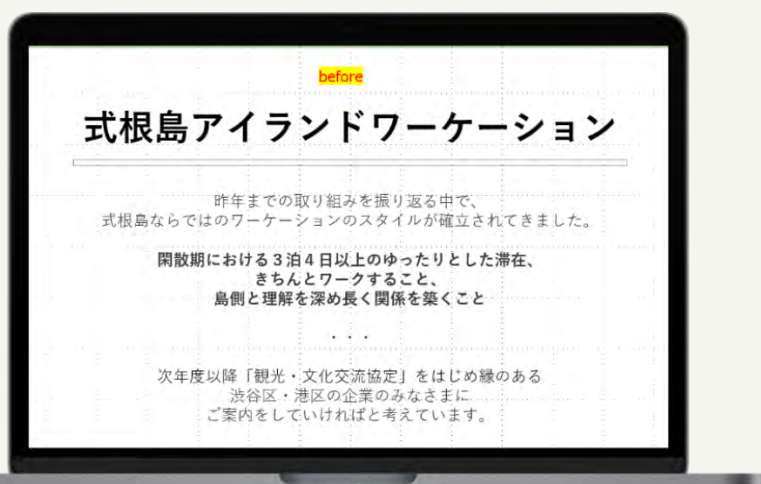
夏の観光シーズンに依存しない新しい旅行スタイルの確立と、島を理解し支えてくれる関係人口の創出を目指し、式根島が模索しているワーケーション誘致。今年度は式根島でのワーケーションを「3泊以上のゆったりした滞在」と定め、都内と同様のワーク環境で仕事をしながら、島ならではの余暇をバランスよく楽しむ式根島式スタイルを「アイランドワーケーション」と銘打ち、本格的な営業に向けて検討が進められてきました。

5泊6日のモニターツアーを挟んだ3回の式根島アカデミープログラムで見えてきたのは、式根島では都内と遜色ない通信速度と作業環境が整備されていること。その反面、ここ1年でワーケーションに対する環境整備が全国で急速に進み、もはや「どこでも仕事ができるのは当たり前」といった現状もわかってきました。

企業間ではワーケーション普及の影で「ワーケーション＝社外で遊んでいる、生産性が低下する」といったネガティブイメージも生まれており、近年IT系の企業で導入が進んでいる「オフサイト（職場以外の場所での合宿、交流会）」のほうに式根島には適しているのではないかと、という方向性が見えてきました。

式根島アカデミーを終えた2022年1月9日、式根島メンバーが集まり今後の展開について検討会を行いました。式根島は内地の競合地と比較すると環境的なハンデがありますが、何もない離島だからこそ「都内より集中して仕事できる」「規則正しい生活ができ、自然の中で心身ともに健康になれる」といった側面がモニター調査で見えてきた、とメンバー。「式根島 島ごもり」をキーワードに、式根島ならではの「こもって集中できる環境」を全面に押し出し、ワーケーションとオフサイトの両面で販売促進を行うことで意見がまとまりました。

今後は式根島の取り組みを紹介する新聞を制作し、新島・式根島で配布することで地元住民との協力体制を強化しながら、企業向けの販促パンフレットを制作し、組織単位でのオフサイト、ワーケーション誘客へ本格的な営業をスタートする予定です。







式根島アイランドワーケーションレポート2021-2022  
2022年2月発行

発行：一般社団法人式根島エリアマネジメント

編集：特定非営利活動法人NPOにじま村、一般社団法人新島OIGIE

写真：岡桃子、式根島観光協会、シブヤ経済新聞